

「コロナウィルス肺炎（CoVP）とインフルエンザウィルス肺炎（InVP）、 非ウィルス性市中肺炎（nVCAP）の臨床像に関する多施設共同研究」 のお知らせ

市中肺炎とは、医療関連行為を受けていない方に家庭で起こった肺炎のことです。2019年中国武漢に端を発したコロナウィルスによる肺炎は世界的な拡大をみせつつあります。現在あるコロナウィルス肺炎のデータの多くは中国での記録によるものですが、一般的なウィルス性肺炎の性質を示したものも多く、コロナウィルス以外のウィルス性肺炎（これまでの日本では多くはインフルエンザウィルス肺炎になります）や非ウィルス性の市中肺炎との比較はなされておらずその臨床的特徴・違いは明らかではありません。そこで、京都大学および関連の病院に入院されたコロナウィルス肺炎もしくはインフルエンザウィルス肺炎や非ウィルス性市中肺炎の患者さんを多人数集積して、コロナウィルス肺炎の診療に役立つ情報や日本のコロナウィルス肺炎の特徴を見出すことを目的とした研究が計画され当院も参加しています。

<研究対象>

当院で2022年9月30日までの期間に、コロナウィルス肺炎とインフルエンザウィルス肺炎、非ウィルス性市中肺炎の診断で入院された16歳以上の患者さん

<研究期間>2025年9月30日までを予定しています。

<研究内容>

年齢や性別、既往歴、海外渡航歴、入院時血液検査結果、血圧、体温、胸部レントゲン写真やCT検査結果、治療内容、治療期間、治療効果、転帰などを診療録より調べます。また、入院時や経過中に撮影した胸部X線と胸部CT画像も提出します。

<主任研究者>

京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 講師 伊藤 功朗

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。提出する胸部X線と胸部CT画像もカルテ番号、患者氏名など個人を特定する情報は全て削除します。これらのデータは研究代表者に提供します。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が入ることはありません。プライバシーは守られます。本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021年3月1日

京都桂病院 副院長（呼吸器センター呼吸器内科部長兼務） 西村 尚志